ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道乙瀬小方線　新町陸橋耐震補強工事に伴う支障物件移設設計業務委託

ボーリングNo　B R G 0 0 0 1

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.P3	調査位置	広島県大竹市御園一丁目			北緯	34° 14' 11.3"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日支所			調査期間	平成 29年 8月 17日 ～ 29年 8月 18日	東経	132° 13' 7.3"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=4.69m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 0°	使用機種	
総掘進長	6.70m					試錐機	東邦製D－0型	ハンマー落下用具	半自動落下
						エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦製BG－3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	3.19	1.50	1.50		礫混じり砂	淡茶灰	中ぐらい		砂～細礫を主体とする。 所々にコンクリート片および岩砕を混入する。 乾燥した状態にある。	8/17 8.46
2										
3					礫混じり砂	暗灰	非常に緩い～緩い		砂～細礫を主体とする。 下層では、細礫の混入量多くなる。 若干の臭気あり。 色調変化と初期地下水確認深度とほぼ一致する。	
4										
5	-0.81	4.00	5.50							
6	-2.01	1.20	6.70		砂質土	淡灰～暗灰	緩い		粒径ほぼ均一な砂を主体としている。 GL-6m付近で色調変化する。 下層では細礫の混入量増す。 ※GL-6.7mでコンクリートに達し掘り止めとする。	
7										
8										
9										

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	7	3	12／30	12
1.45					
2.15	2	3	3	8／30	8
2.45					
3.15	1／15	1／15		2／30	2
3.45					
4.00				0／60	0
4.60	ハンマー自沈				
5.15	2	2	3	7／30	7
5.45					
6.15	1	1	1	3／30	3
6.45					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果
6.00	現場透水試験 1.10E-06～1.43E-07
6.70	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				8/17
				8/18